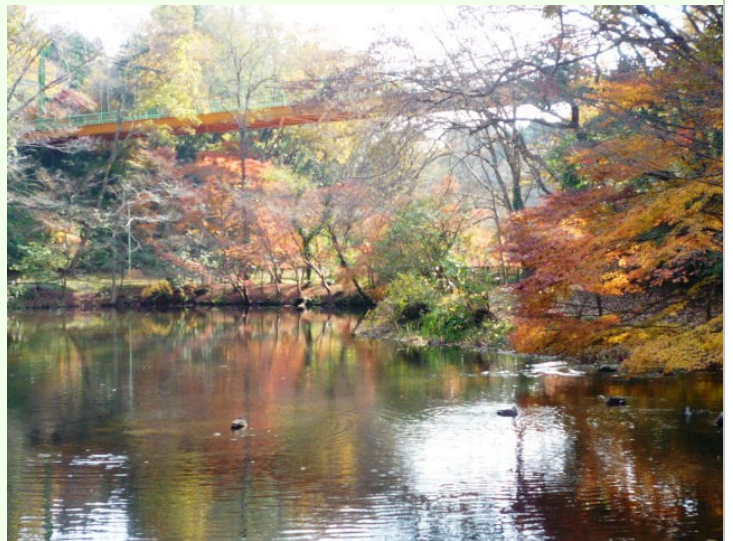


|      |                                 |               |                  |
|------|---------------------------------|---------------|------------------|
| 活動分野 | 森林環境教育                          |               |                  |
| タイトル | 泉自然公園 ～ 千葉市随一の紅葉の名所で秋の自然を満喫する ～ |               |                  |
| 実施日時 | 平成 28 年 11 月 30 日 (水) 10 時～15 時 |               |                  |
| 実施場所 | 千葉市若葉区 泉自然公園                    |               |                  |
| 受講者  | 24 名                            | F I C 会員他スタッフ | 3 名 (FIC 会員 1 名) |

### 活動の内容：千葉市みどりの協会主催 自然観察講座

紅葉が見事な泉自然公園を訪れました。挨拶とスケジュール等の簡単な説明の後、本公園の一番のビュースポットである「いずみ橋」からの紅葉観賞です。例年より少し紅葉が早いのか？ 少し盛りを過ぎているようでしたが、それでも十分に見応えのある景観を楽しむことが出来ました。

いずみ橋から戻り、再び駐車場を経て池に下ります。杉林から池に沿った散策路、更にもみじ谷を経て草原に出て昼食、午後には県木の広場、外来樹木の広場等を巡り、なかには殆ど葉を落としてしまった木もありましたが、公園に植えられている 15 種のカエデ全てを観察しました。それぞれの種により、紅葉・あるいは黄葉するものがあること、また同じ種でも条件によって色の変化が様々であることを理解されたと思います。

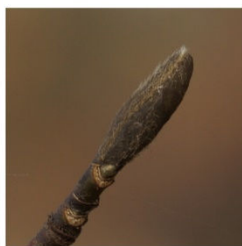


また、冬に葉を落とす植物だけでなく、他の樹木等が葉を落とす冬だけに葉をつけて光合成を行う植物の例を、シダ植物のフユノハナワラビやオオハナワラビなどで観察しました。

この時期の樹木達は冬越しの準備と、新しい子孫を残すための種の散布にも大わらわです。冬芽の代表としてコブシ、ハクモクレンの冬芽観察、また昼休みには各種サクラの冬芽の違いを留意していたループで観察しました。



最後に、予め用意した、あるいは公園内で拾い集めた“種”（カエデ類、イヌシデ、ハナノキ、ケヤキ等々）を使った種飛ばしを、格好の「飛ばしスポット」であるいずみ橋から池に向かって飛ばしました。くるくる回りながら飛んでいく種を見て、「自然って本当にうまくできている」ことを実感するとともに、童心に返った一時を楽しまれたことと思います。



コブシの花芽(左)、葉芽(右)



胞子葉を伸ばしたオオハナワラビ